

IV 調査結果の詳細

IV 調査結果の詳細

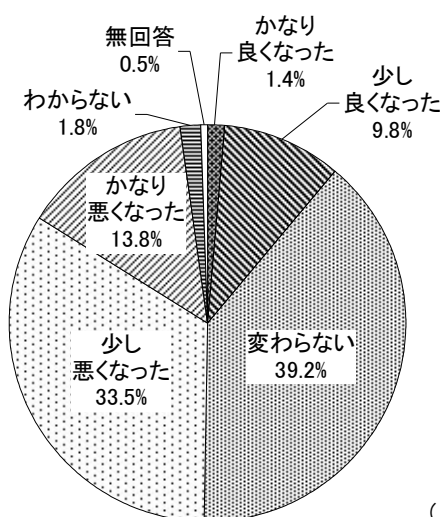
1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。
次の中から1つ選んでください。

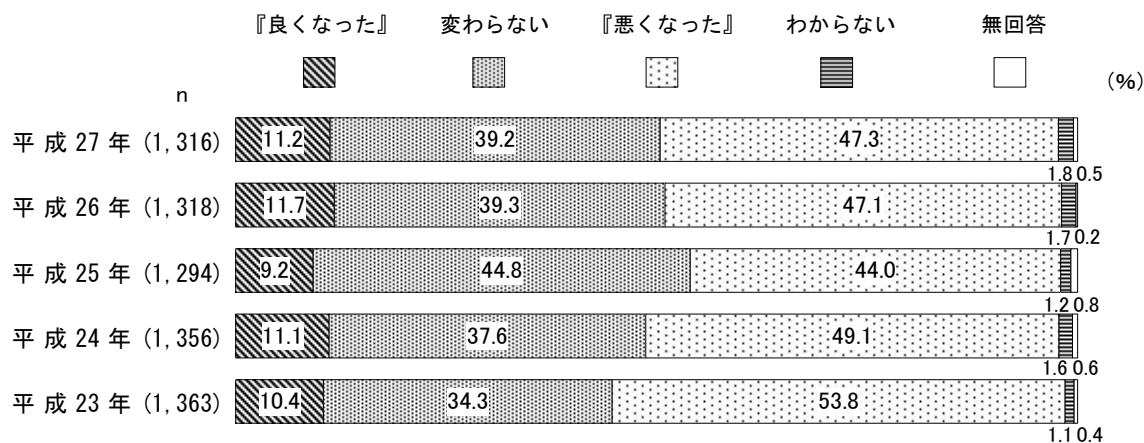
[n=1,316]

1	かなり良くなった	1.4%	4	少し悪くなった	33.5%
2	少し良くなった	9.8	5	かなり悪くなった	13.8
3	変わらない	39.2	6	わからない	1.8
				(無回答)	0.5



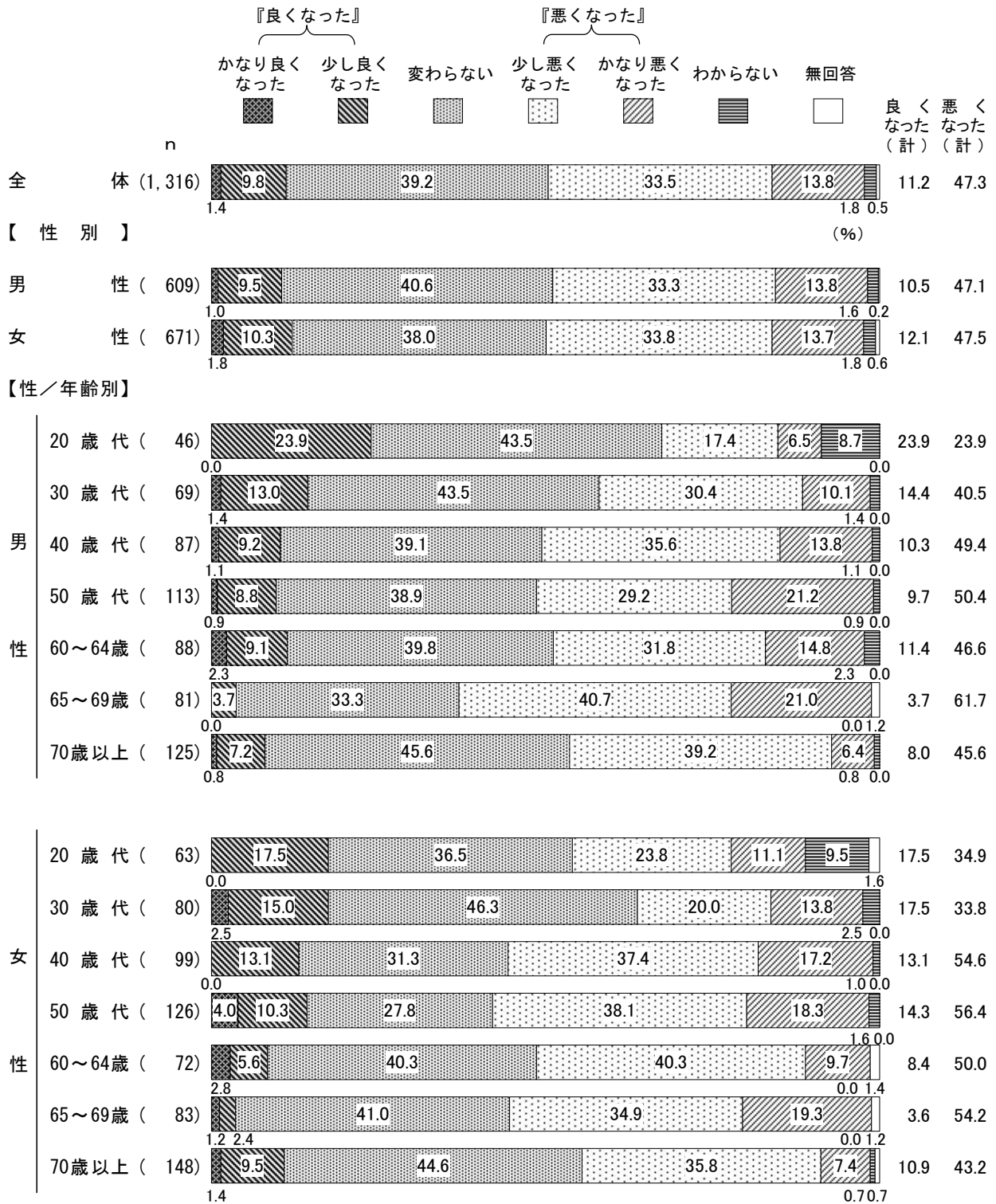
(n=1,316)

全体で見ると、「かなり良くなった」(1.4%)と「少し良くなった」(9.8%)の2つを合わせた『良くなった』(11.2%)は1割を超えている。一方、「少し悪くなった」(33.5%)と「かなり悪くなった」(13.8%)の2つを合わせた『悪くなった』(47.3%)は5割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、前回(平成26年)とほぼ同じ割合となっており、『良くなった』は1割前後、『悪くなった』は5割前後で推移している。

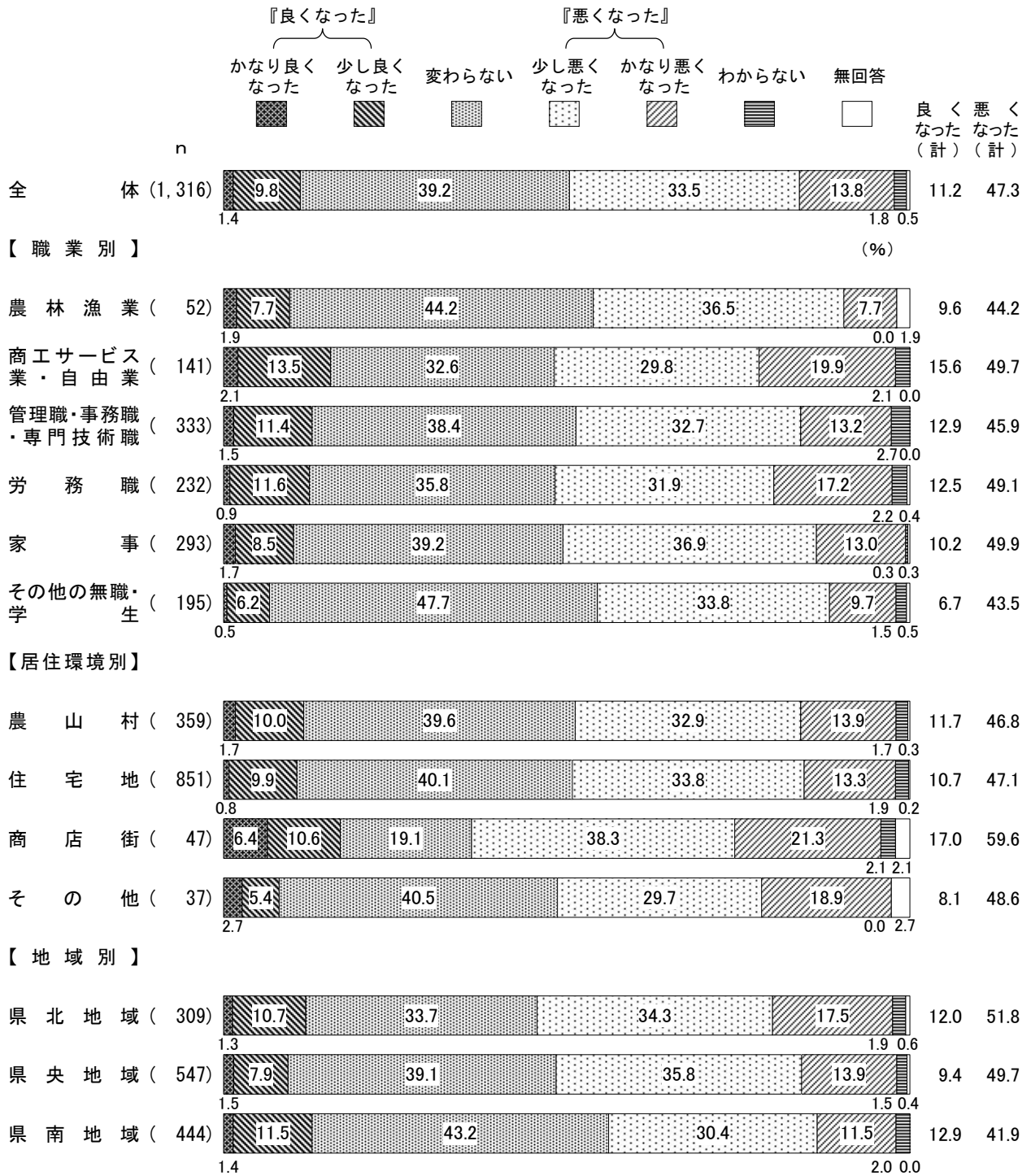
【性別・性／年齢別】



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『良くなった』では〈男性20歳代〉が23.9%、〈女性20歳代〉と〈女性30歳代〉がともに17.5%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈男性65~69歳〉が61.7%、〈女性50歳代〉が56.4%と高くなっている。

〔職業別・居住環境別・地域別〕



職業別でみると、『良くなった』では〈商工サービス業・自由業〉が15.6%と高くなっている。

居住環境別でみると、『良くなった』では〈商店街〉が17.0%と高くなっている。

地域別でみると、『悪くなった』では〈県北地域〉が51.8%、〈県央地域〉が49.7%となっており、〈県南地域〉(41.9%)に比べて高くなっている。

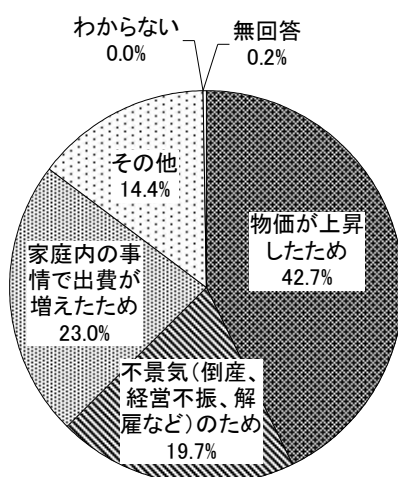
(1-1) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。

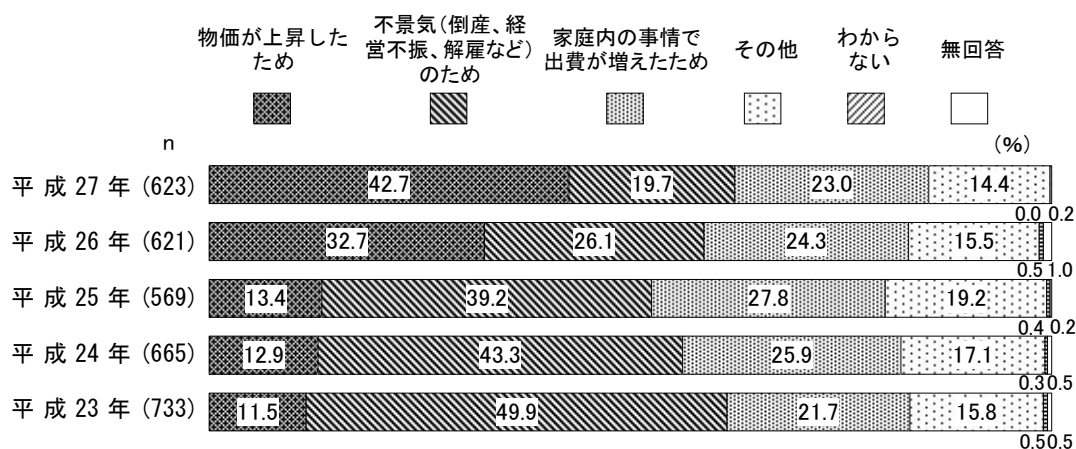
[n=623]

1 物価が上昇したため	42.7%
2 不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため	19.7
3 家庭内の事情で出費が増えたため	23.0
4 その他	14.4
5 わからない	0.0
(無回答)	0.2



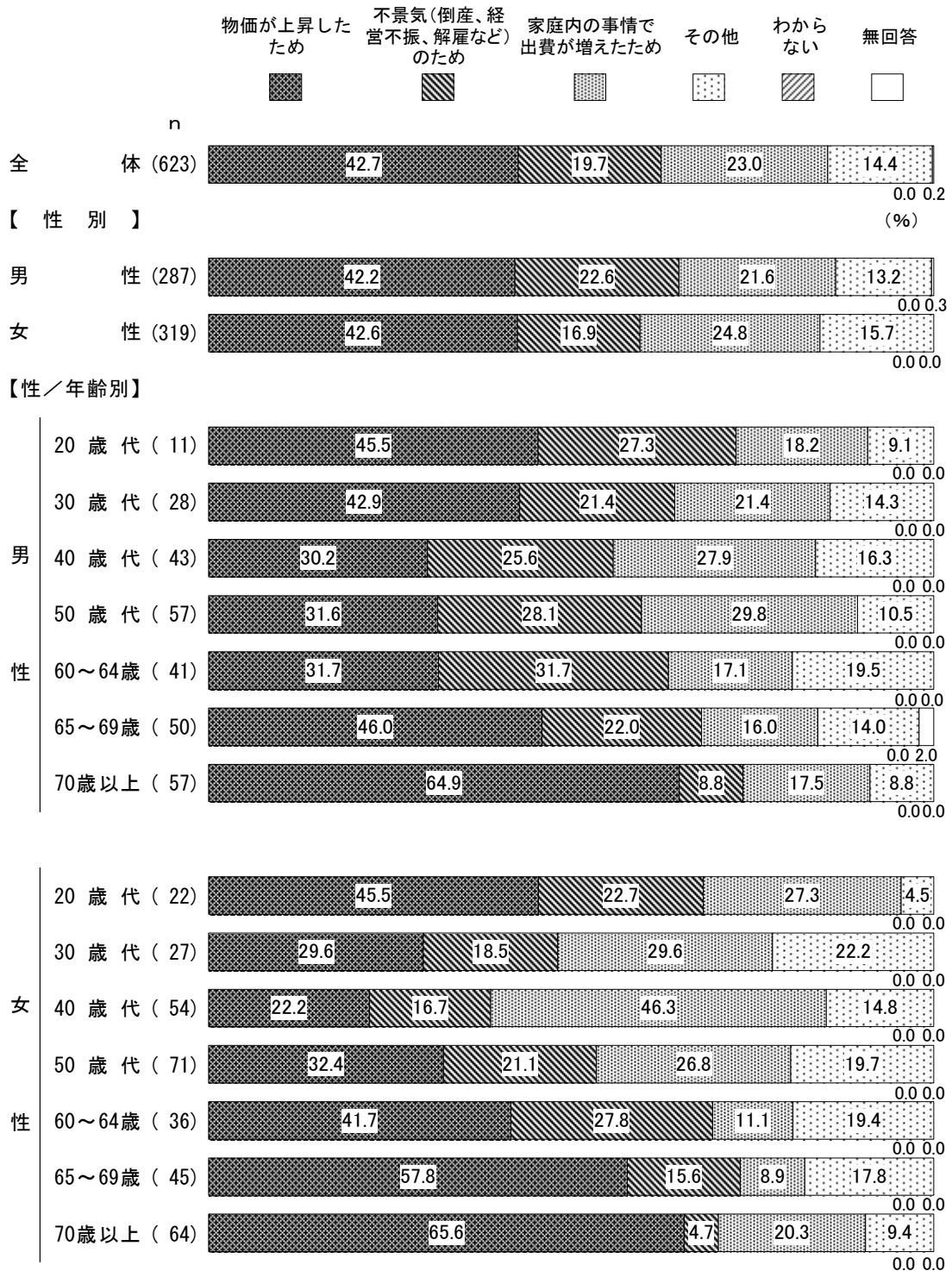
(n=623)

全体で見ると、「物価が上昇したため」(42.7%)が4割を超えて最も高く、次いで「家庭内の事情で出費が増えたため」(23.0%)、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」(19.7%)の順となっている。



過去の調査結果と比較すると、「物価が上昇したため」が前回(平成26年)より10.0ポイント増加している。一方、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」が前回(平成26年)より6.4ポイント減少している。

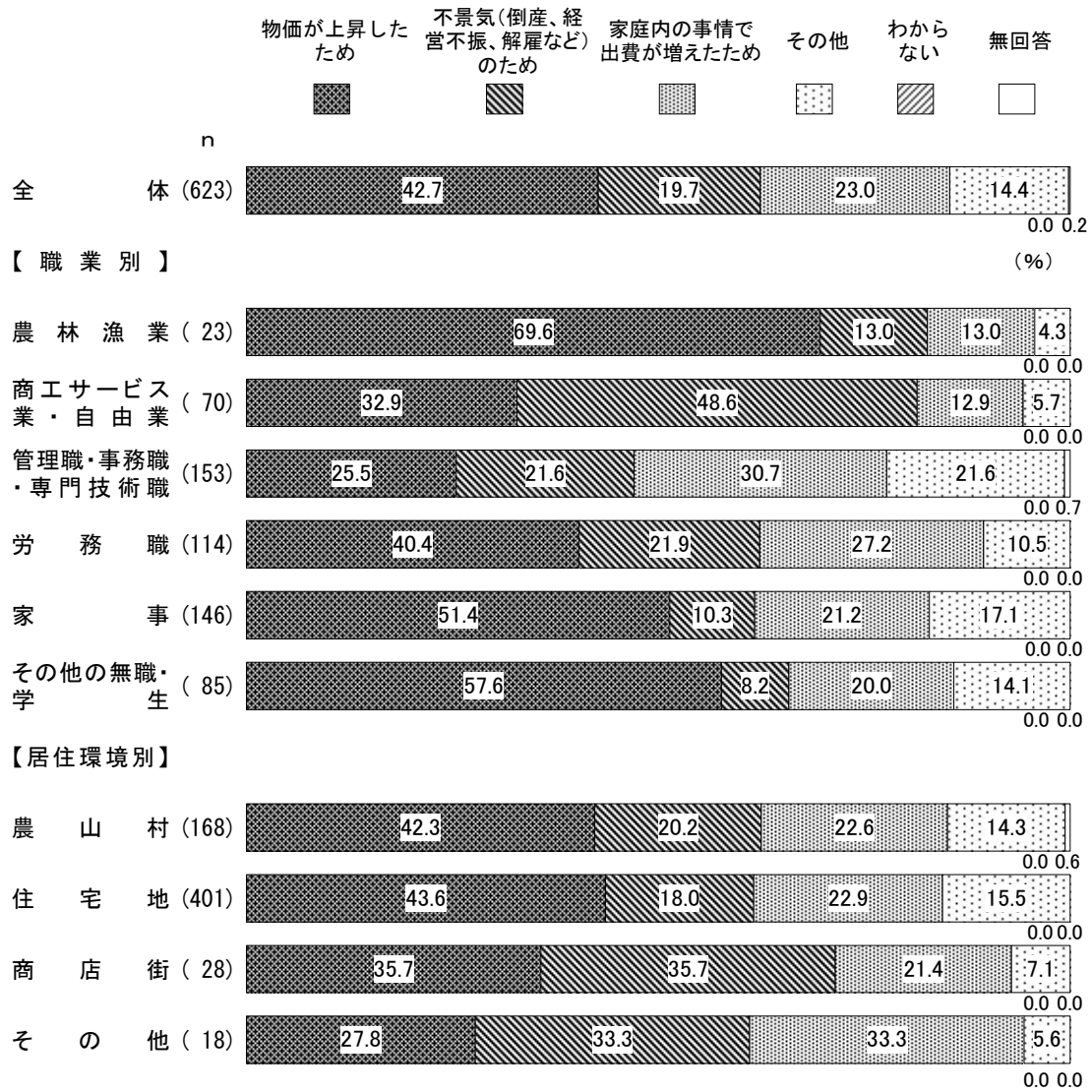
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈男性〉（22.6%）が〈女性〉（16.9%）より5.7ポイント高くなっている。「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性〉（24.8%）が〈男性〉（21.6%）より3.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「物価が上昇したため」では〈女性70歳以上〉が65.6%、〈男性70歳以上〉が64.9%と高くなっている。「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性40歳代〉が46.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「物価が上昇したため」では〈農林漁業〉が69.6%、〈その他の無職・学生〉が57.6%と高くなっている。「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」では〈商工サービス業・自由業〉が48.6%と高くなっている。

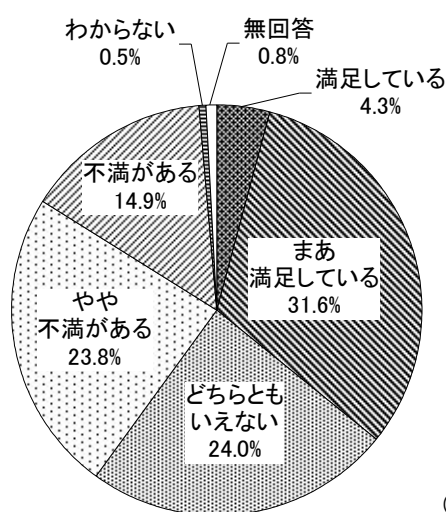
居住環境別でみると、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」では〈商店街〉が35.7%と高くなっている。

(2) 暮らしの満足度

問2 あなたは、今の暮らしについてのどの程度満足していますか。
次の中から1つ選んでください。

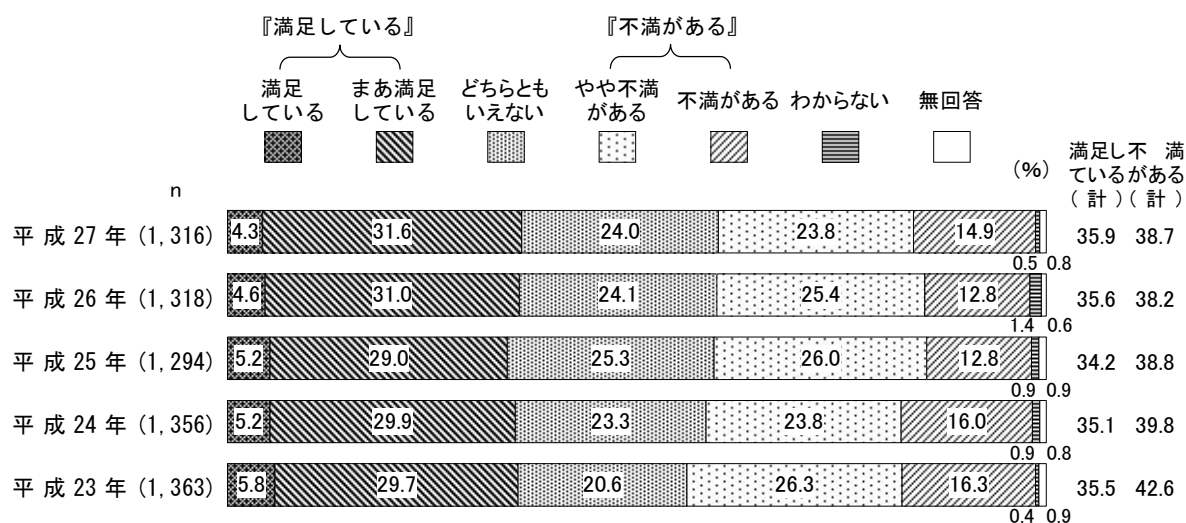
[n=1,316]

1	満足している	4.3%	4	やや不満がある	23.8%
2	まあ満足している	31.6	5	不満がある	14.9
3	どちらともいえない	24.0	6	わからない	0.5
				(無回答)	0.8



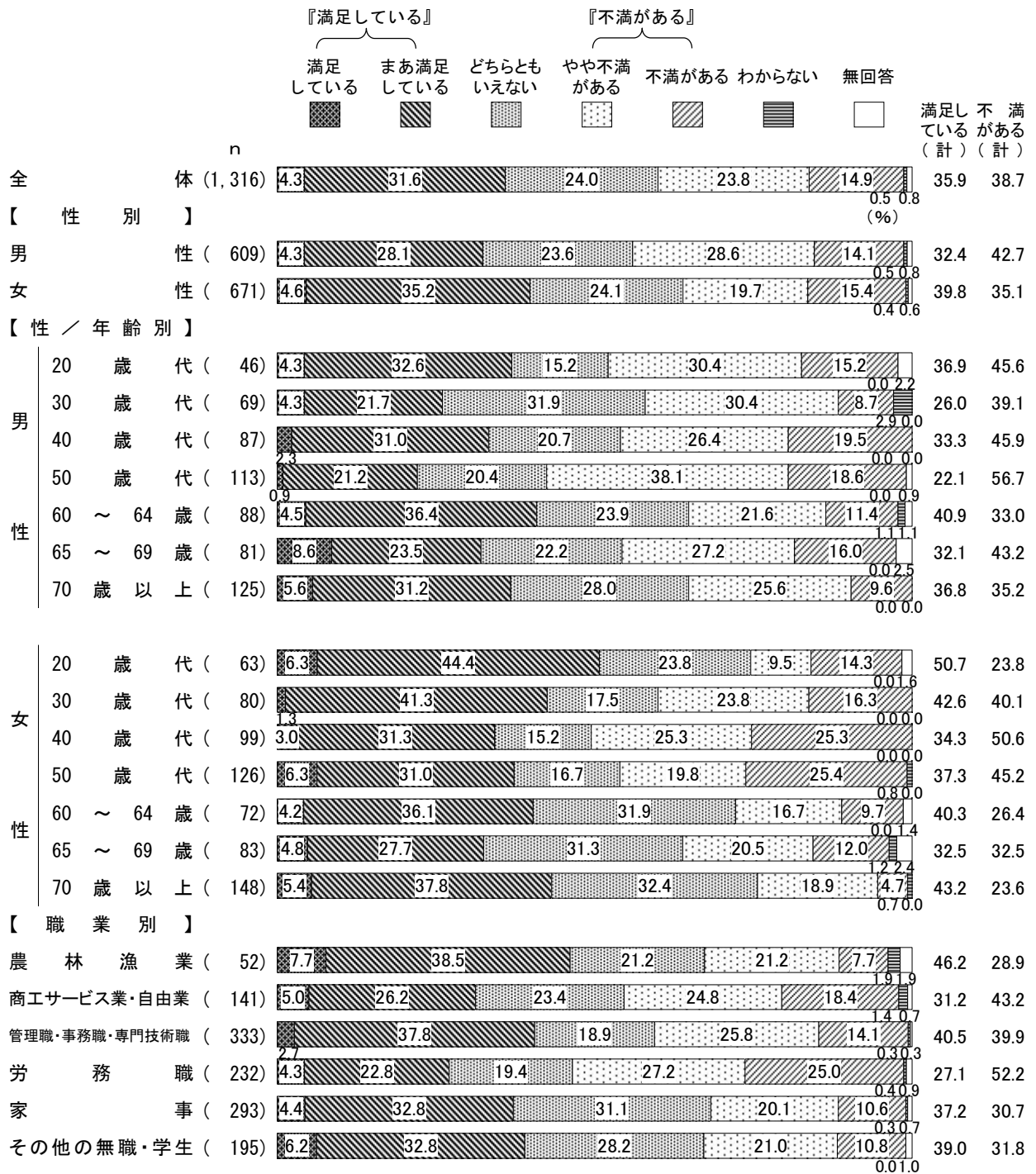
(n=1,316)

全体で見ると、「満足している」(4.3%)と「まあ満足している」(31.6%)の2つを合わせた『満足している』(35.9%)は3割半ばとなっている。一方、「やや不満がある」(23.8%)と「不満がある」(14.9%)の2つを合わせた『不満がある』(38.7%)は4割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

【性別・性／年齢別・職業別】

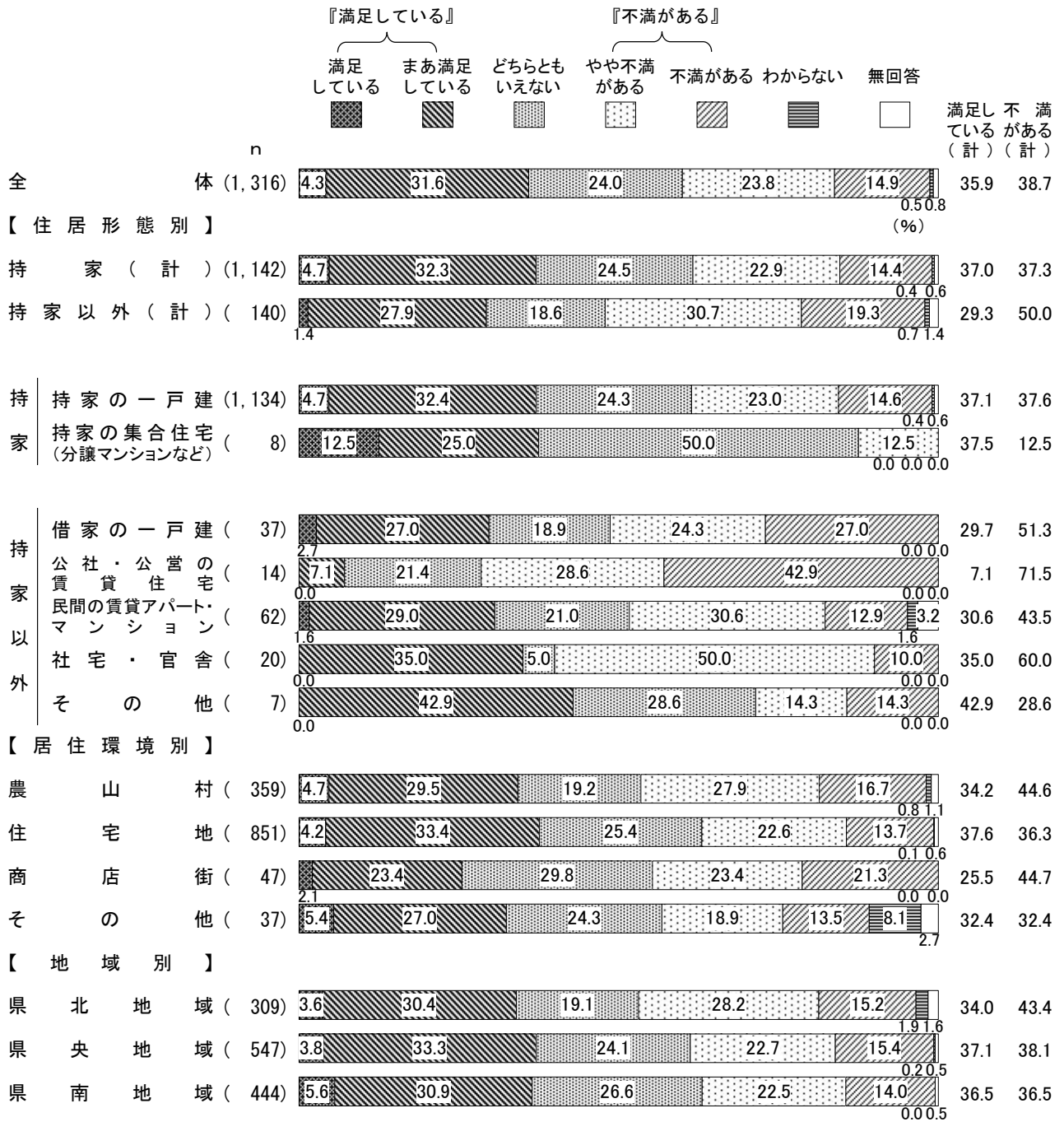


性別で見ると、『満足している』では〈女性〉(39.8%)が〈男性〉(32.4%)より7.4ポイント高くなっている。『不満がある』では〈男性〉(42.7%)が〈女性〉(35.1%)より7.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『満足している』では〈女性20歳代〉が50.7%と高くなっている。『不満がある』では〈男性50歳代〉が56.7%、〈女性40歳代〉が50.6%と高くなっている。

職業別で見ると、『満足している』では〈農林漁業〉が46.2%と高くなっている。『不満がある』では〈労務職〉が52.2%と高くなっている。

[住居形態別・居住環境別・地域別]



住居形態別でみると、『満足している』では〈持家 (計)〉 (37.0%) が〈持家以外 (計)〉 (29.3%) より7.7ポイント高くなっている。『不満がある』では〈持家以外 (計)〉 (50.0%) が〈持家 (計)〉 (37.3%) より12.7ポイント高くなっている。

居住環境別でみると、『満足している』では〈住宅地〉が37.6%と高くなっている。『不満がある』では〈商店街〉が44.7%、〈農山村〉が44.6%となっており、〈住宅地〉 (36.3%) に比べて高くなっている。

地域別でみると、『不満がある』では〈県北地域〉が43.4%と高くなっている。

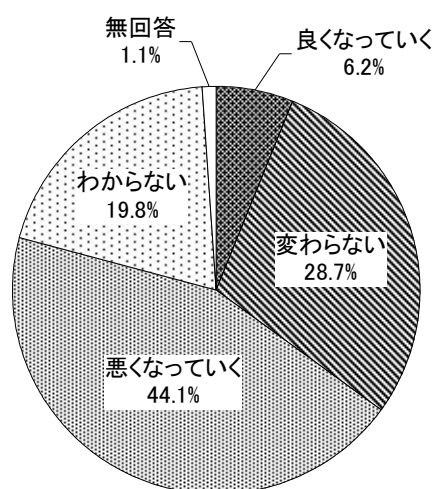
(3) 今後の暮らしの状況

問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。

次の中から1つ選んでください。

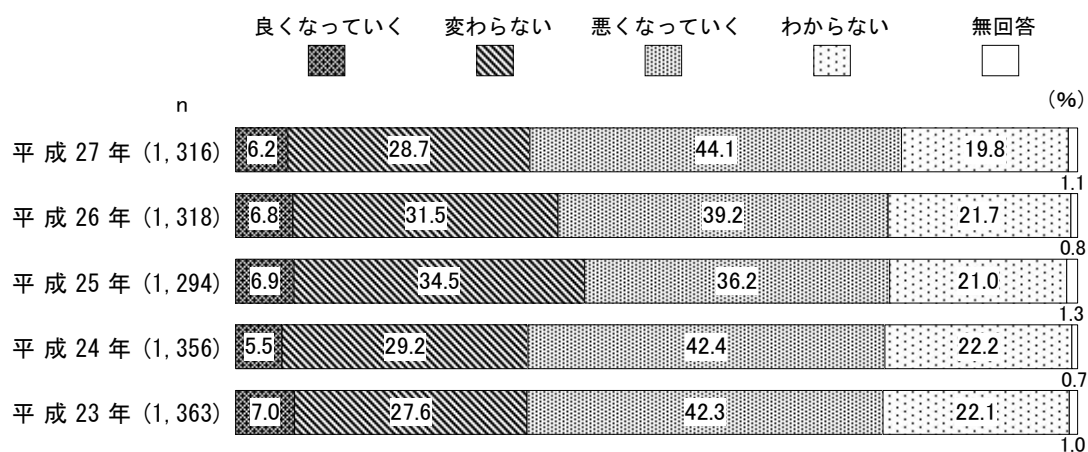
[n=1,316]

1	良くなっていく	6.2%	3	悪くなっていく	44.1%
2	変わらない	28.7	4	わからない	19.8
				(無回答)	1.1



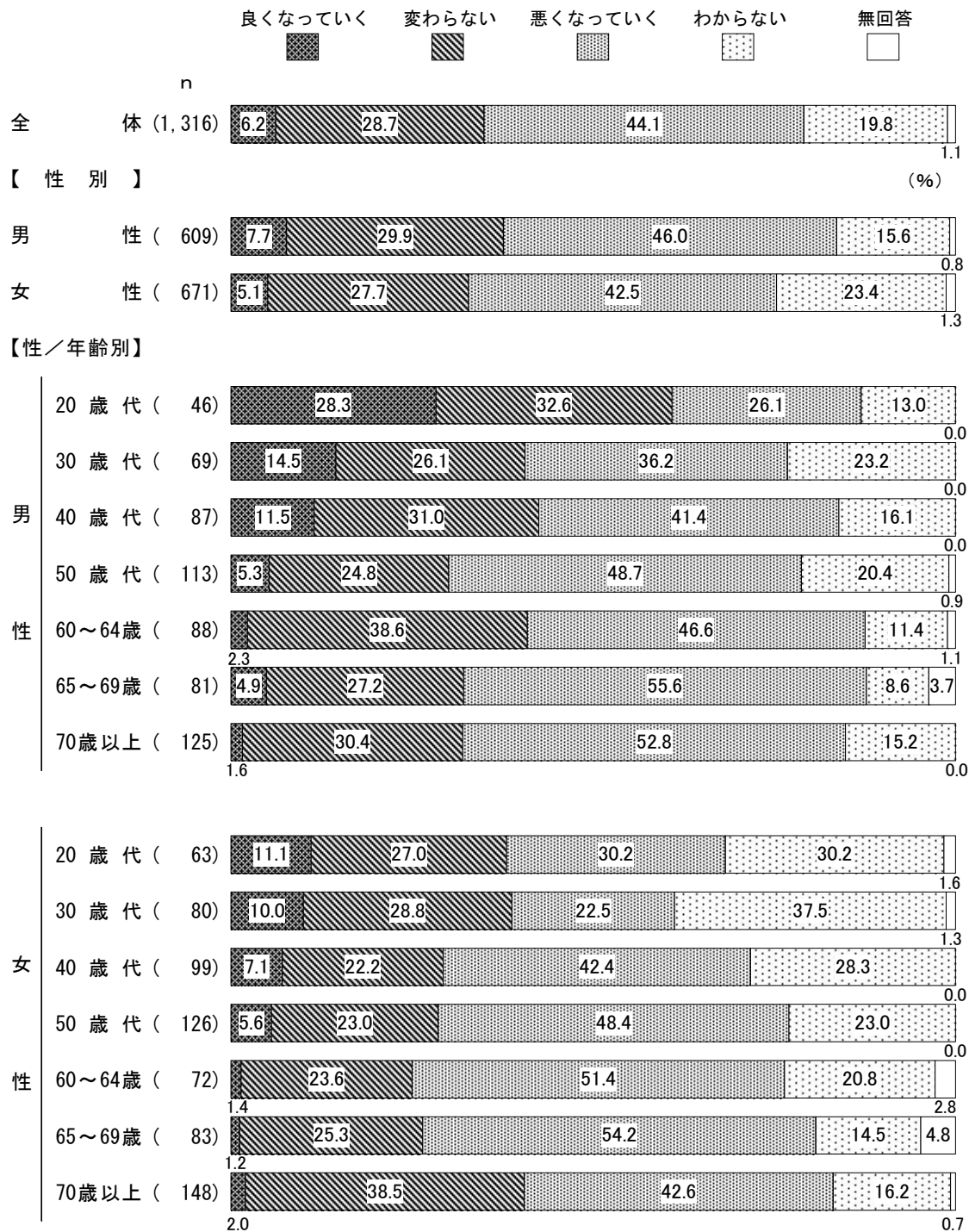
(n=1,316)

全体で見ると、「良くなっていく」(6.2%)は1割に満たない。「変わらない」(28.7%)は3割近く、「悪くなっていく」(44.1%)は4割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、「悪くなっていく」が前回(平成26年)より4.9ポイント増加している。

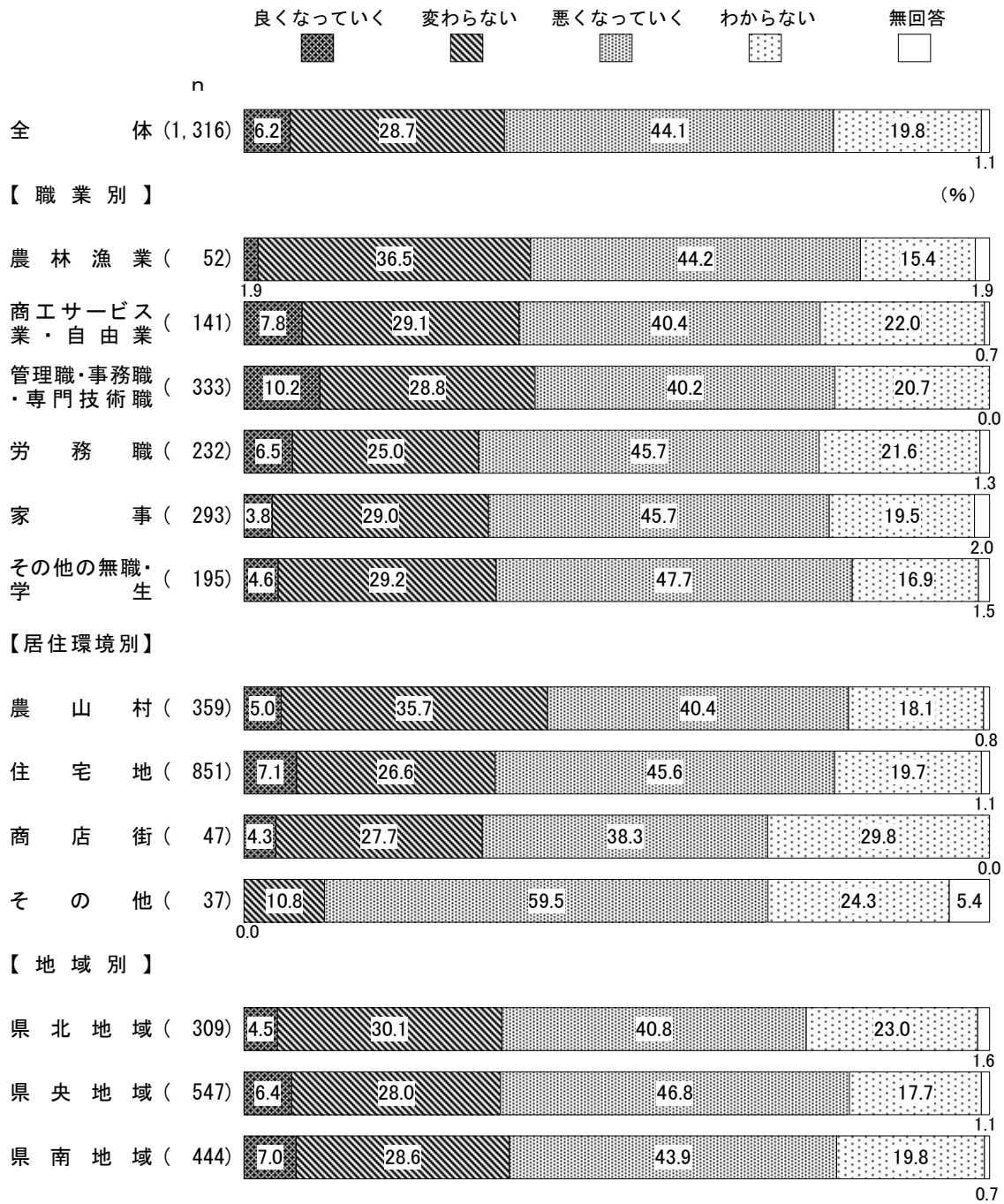
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「悪くなっていく」では〈男性〉(46.0%)が〈女性〉(42.5%)より3.5ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「良くなっていく」では〈男性20歳代〉が28.3%と高くなっている。「変わらない」では〈男性60~64歳〉が38.6%、〈女性70歳以上〉が38.5%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈男性65~69歳〉が55.6%、〈女性65~69歳〉が54.2%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「良くなっていく」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が10.2%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈その他の無職・学生〉が47.7%と高くなっている。

居住環境別でみると、「変わらない」では〈農山村〉が35.7%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈住宅地〉が45.6%と高くなっている。

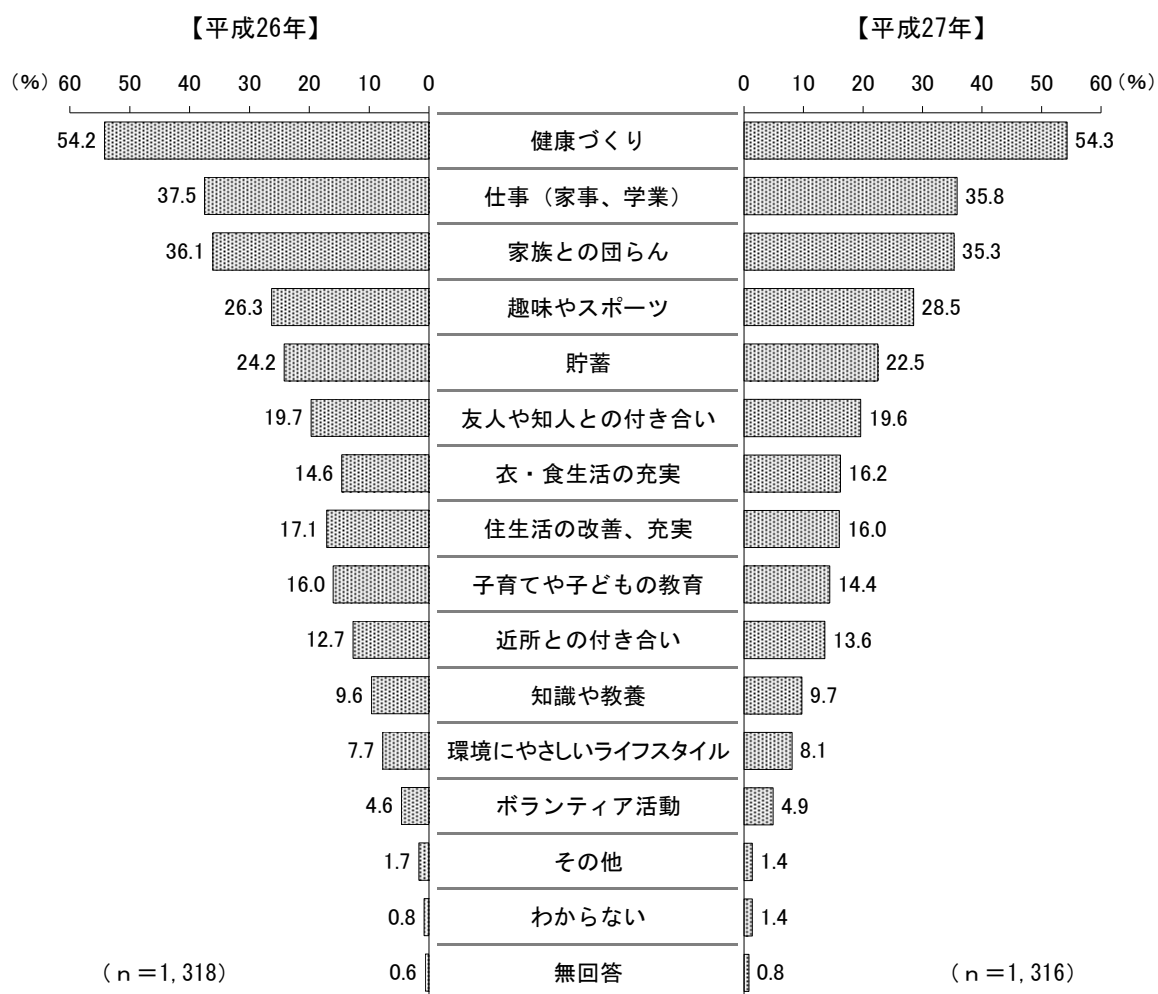
地域別でみると、「悪くなっていく」では〈県央地域〉が46.8%と高くなっている。

(4) 今後の暮らしで力を入れる点

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

[n=1,316]

1	仕事（家事、学業）	35.8%	9	家族との団らん	35.3%
2	知識や教養	9.7	10	近所との付き合い	13.6
3	貯蓄	22.5	11	友人や知人との付き合い	19.6
4	趣味やスポーツ	28.5	12	子育てや子どもの教育	14.4
5	ボランティア活動	4.9	13	健康づくり	54.3
6	衣・食生活の充実	16.2	14	その他	1.4
7	住生活の改善、充実	16.0	15	わからない	1.4
8	環境にやさしいライフスタイル	8.1		（無回答）	0.8

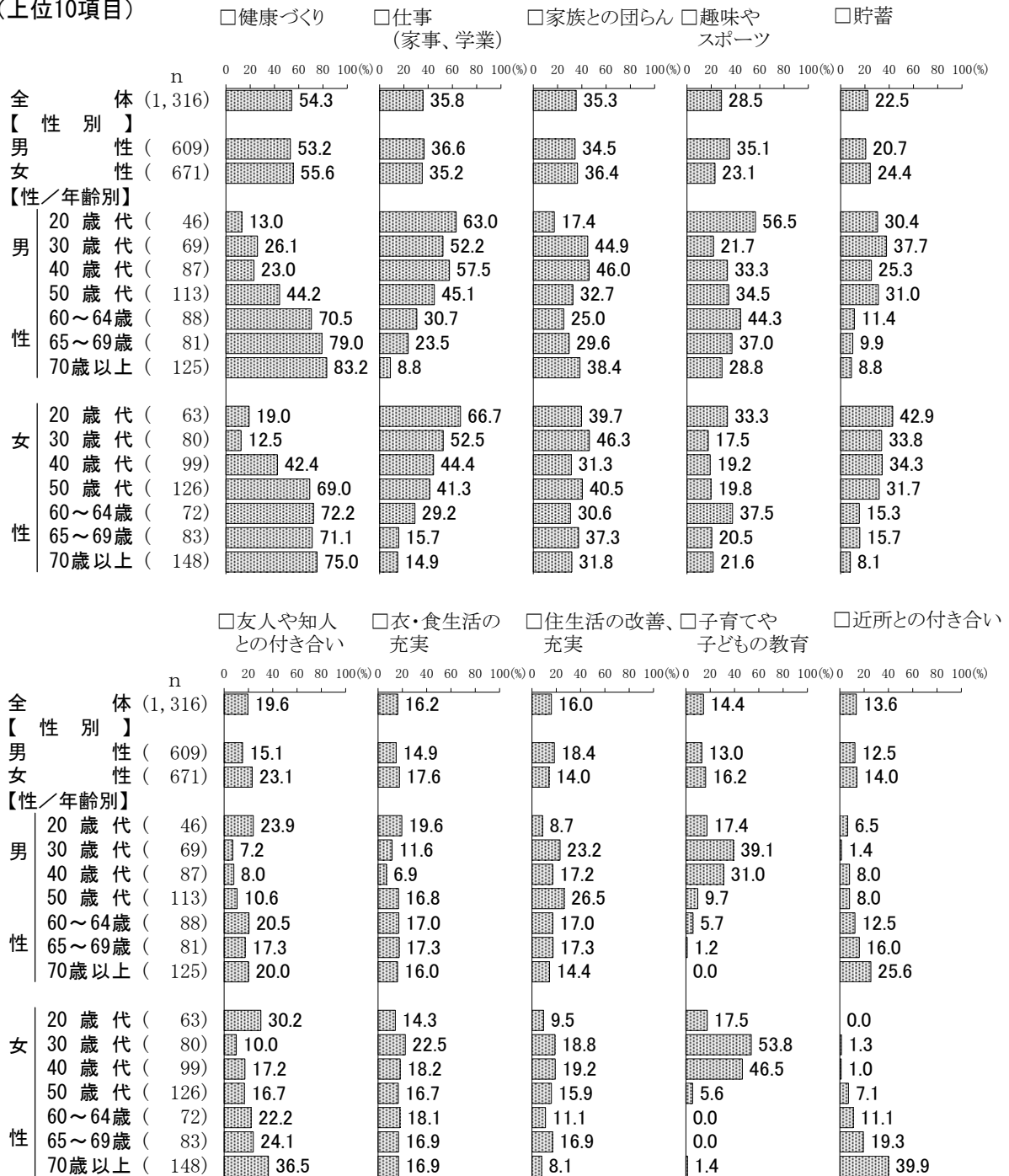


全体で見ると、「健康づくり」(54.3%)が5割半ばで最も高く、次いで「仕事(家事、学業)」(35.8%)、「家族との団らん」(35.3%)、「趣味やスポーツ」(28.5%)、「貯蓄」(22.5%)の順となっている。

前回(平成26年)の調査結果と比較すると、「趣味やスポーツ」が2.2ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

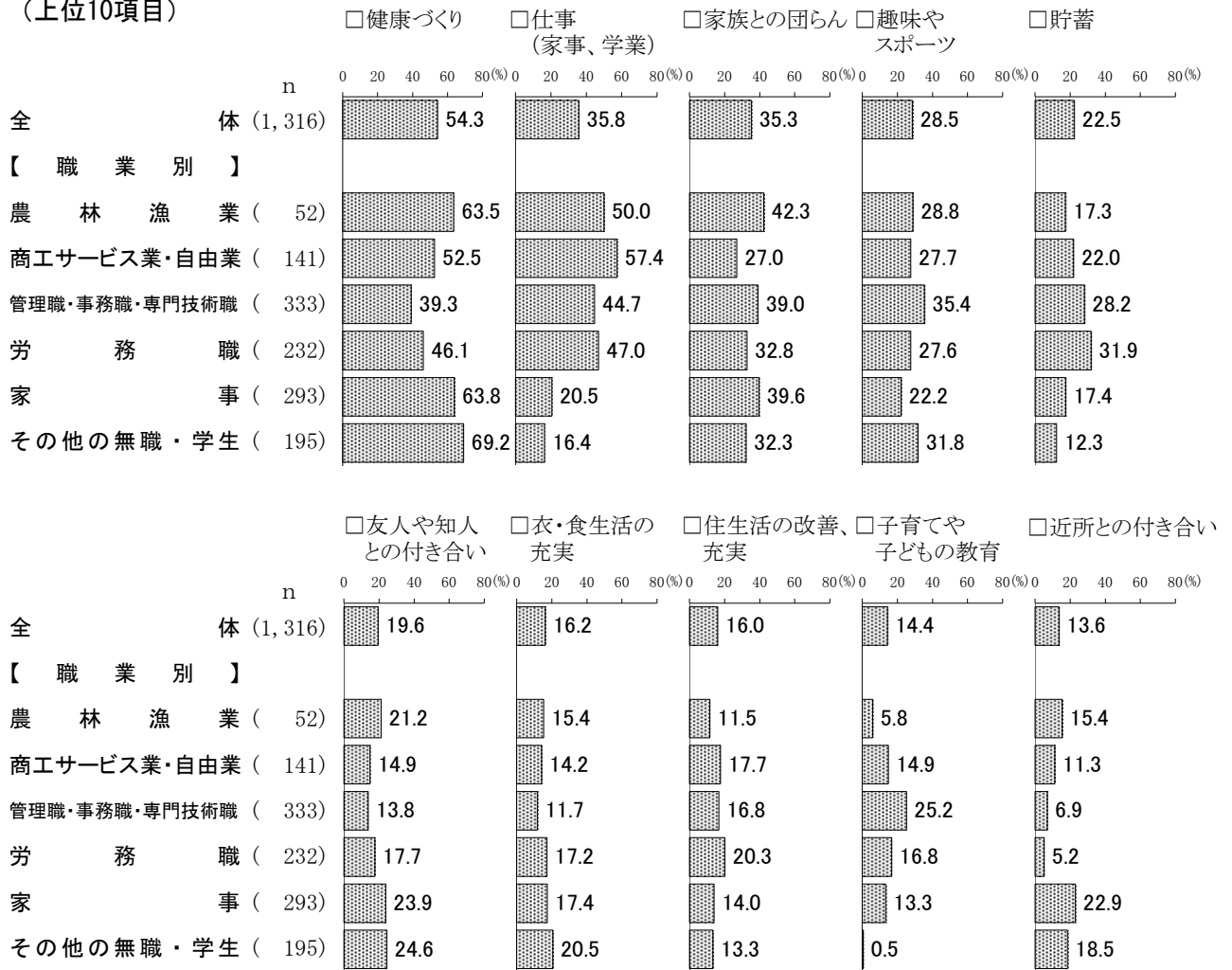


性別でみると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉(35.1%)が〈女性〉(23.1%)より12.0ポイント高くなっている。「友人や知人との付き合い」では〈女性〉(23.1%)が〈男性〉(15.1%)より8.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「健康づくり」では〈男性70歳以上〉が83.2%、〈男性65~69歳〉が79.0%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈女性20歳代〉が66.7%、〈男性20歳代〉が63.0%と高くなっている。「趣味やスポーツ」では〈男性20歳代〉が56.5%と高くなっている。「貯蓄」では〈女性20歳代〉が42.9%と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性30歳代〉が53.8%と高くなっている。「近所との付き合い」では〈女性70歳以上〉が39.9%と高くなっている。

[職業別]

(上位10項目)



職業別でみると、「健康づくり」では〈その他の無職・学生〉が69.2%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈商工サービス業・自由業〉が57.4%と高くなっている。「貯蓄」では〈労務職〉が31.9%と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が25.2%と高くなっている。